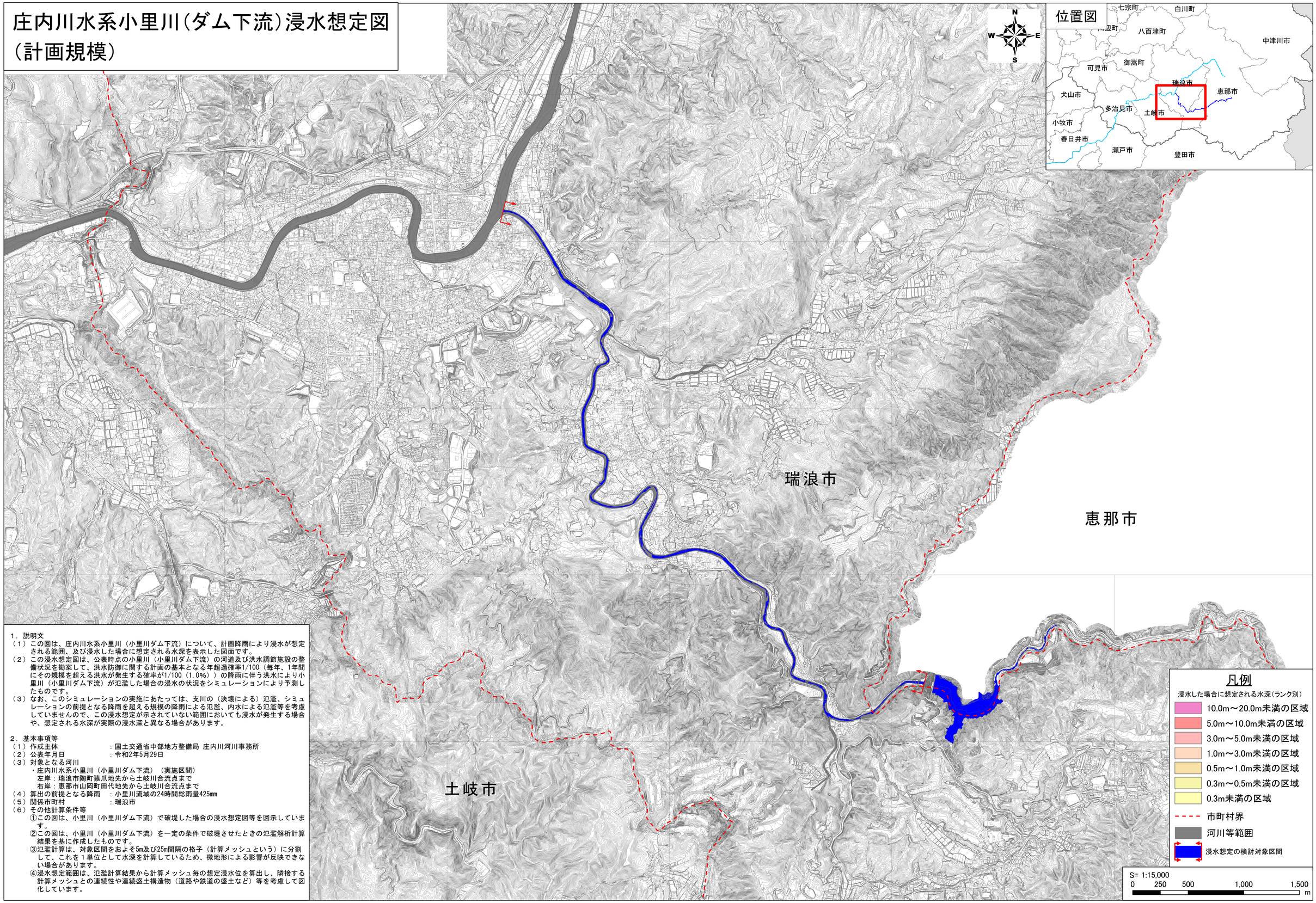
庄内川水系小里川（ダム下流）浸水想定図
（計画規模）



1．説明文

（1）この図は、庄内川水系小里川（小里川ダム下流）について、計画降雨により浸水が想定される範囲、及び浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この浸水想定図は、公表時点の小里川（小里川ダム下流）の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1.0%））の降雨に伴う洪水により小里川（小里川ダム下流）が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定が示されていない範囲においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2．基本事項等

（1）作成主体　：国土交通省中部地方整備局 庄内川河川事務所

（2）公表年月日　：令和2年5月29日

（3）対象となる河川

・庄内川水系小里川（小里川ダム下流）（実施区間）

左岸：瑞浪市陶町猿爪地先から土岐川合流点まで

右岸：恵那市山岡町田代地先から土岐川合流点まで

（4）算出の前提となる降雨　：小里川流域の24時間総雨量425mm

（5）関係市町村　：瑞浪市

（6）その他計算条件等

①この図は、小里川（小里川ダム下流）で破堤した場合の浸水想定図等を図示しています。

②この図は、小里川（小里川ダム下流）を一定の条件で破堤させたときの氾濫解析計算結果を基に作成したものです。

③氾濫計算は、対象区間をおよそ5m及び25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。

④浸水想定範囲は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

国土交通省　中部地方整備局　庄内川河川事務所　令和2年5月

この地図は、瑞浪市長、土岐市長の承認を得て同市作成の1/2,500都市計画基本図を使用したものです。
（承認番号：瑞浪市（瑞浪市指令第１２０号の３）　土岐市（令和元年度土都計第３４１９号））